

人形浄瑠璃

文楽

～解説・字幕付き～

世界最高峰の人形劇

©青木信二

繊細な表現で
観るものを圧倒する
“文楽の世界”

2020

10.17(土)

出演：【太夫】豊竹呂太夫
【三味線】鶴澤清治(人間国宝)
【人形】桐竹勤十郎

昼の部 13:00 開場 13:30 開演

約 150 分・休憩あり

にんさんばそう せっしゃがっぼうがつじ
「二人三番叟」 「摂州合邦辻」

夜の部 17:30 開場 18:00 開演

約 135 分・休憩あり

ほんちょうにじゅうしこう つりおんな
「本朝廿四孝」 「釣女」

チケット発売

メンバーズ
6/28(日)

一般
7/5(日)

所沢市民文化センターミュージズ マーキーホール

一般：全席指定 ¥4,000

昼夜セット ¥7,000

メンバーズ特割：全席指定 ¥3,500

昼夜セット ¥6,000

ミュージズメンバーズ倶楽部
会員募集中!

主催公演の優先予約&チケット10%割引
年会費2,000円 入会無料

〈託児サービス(有料・要予約)〉

イベント託児・マザーズ

0120-788-222 (月～金 10:00～17:00)
託児料……0・1歳 2,000円/2歳以上 1,000円

主催：公益財団法人文楽協会
公益財団法人所沢市文化振興事業団

後援：文化庁
助成：芸術文化振興基金・朝日新聞文化財団





昼の部

「二人三番叟」

天下泰平・五穀豊穰を祈る能『翁』をもとにした『寿式三番叟』は、お祝いごとに際して上演されるおめでたい演目。本作は、その後半、二人の三番叟が、袖を振って舞い、力強く足踏みをする「揉ノ段」と、鈴を手に種まきのしぐさをしながら四方をめぐる「鈴ノ段」とを独立させたものです。太夫、三味線、人形いずれもが躍動感にあふれ、足遣いが踏む足拍子やシャンシャンと鳴り響く鈴の音もリズムカルで心地よい、楽しい作品です。



「摂州合邦辻 合邦住家の段」



安永2年(1773)、大坂の北堀江市ノ側芝居で初演された、菅専助・若竹笛躬合作の二巻の時代物。継母の呪いにより病となって四天王寺(大阪市)に捨てられ、恋人の尽力で救われる『しんとく丸』、継母の恋を拒んで家を出、自ら命を捨てる『あいごの若』、これら説経で知られた物語を題材とし、お家乗っ取りの陰謀を絡めてあります。

若くして老主君の後妻に迎えられた、もと腰元の玉手は、年の近い継子俊徳丸に恋し、突如として難病にかかった俊徳丸が家督相続を諦めて館を去るや、あとを追って家出。行方を探しあぐねて立ち寄った両親の家で、許婚の浅香姫とともに匿われていた俊徳丸を見つけると、恋心をあらわにして縋りつき、邪魔な姫に暴行。また、俊徳丸の病は、姫に愛想尽かしをさせようとして、玉手が毒を盛ったことも判明。

曲がったことの大嫌いな父合邦は、非道な娘を許せず激怒し、涙ながらに刺し殺します。ところが、死を前に玉手が明かしたのは、思いも寄らない真実。恋も毒もすべては、継母として大切にすべき継子の命を救うため。玉手が見せる邪な恋と嫉妬、合邦の怒りと悲しみ、心情の激しさに圧倒される人気演目です。

夜の部

「本朝廿四孝 十種香の段・奥庭狐火の段」

將軍足利義晴暗殺犯は誰一武田信玄、長尾(上杉)謙信、斎藤道三、山本勘助らが絡む、近松半二ほか合作の五段の時代物で、明和3年(1766)、竹本座初演。今回は、長野県の諏訪湖畔に設定された謙信の館を舞台とする、美しさあふれる四段目をご覧ください。

武田家の重宝諏訪法性の兜を謙信が借りたまま返さず、両家は敵対。和睦のため、信玄の息子勝頼と謙信の娘八重垣姫が許婚に。しかし、その後、勝頼は切腹。が、実は生きていて、暗殺犯を見つけ出すべく、花作りの簀作に姿を変え、謙信の館へ潜入しました。

絵姿を前に亡き許婚を恋慕い、泣き暮らしていた姫は、絵姿そっくりの簀作にびっくり。恋しさを抑えられず、簀作に縋りつき、ついに勝頼その人と知って大喜びしますが、簀作の正体を見破っていた謙信が、勝頼を塩尻へ行かせ、あとから討手を一。

何としても、討手より先に追いつき大切な許婚を救わなければ、とはいえ、凍った湖に船は出せず、陸路では間にあわず、諏訪明神に頼るほかはないと、姫は、諏訪法性の兜を前に一心に祈願。すると、明神のお使いである白狐の姿が…。氷の上を狐より先に渡れば溺れるとのことですが、狐が守護する兜があれば大丈夫なはず。姫は、勝頼に返すべき兜を手に、湖を渡ること。姫の胸のときめきが聞こえるような、優美な「十種香」、諏訪湖の「御神渡り」を取り込んだ「奥庭狐火」では、狐が登場、早替わりもあり、舞台は熱気に包まれます。



「釣女」

狂言『釣針』をもとに明治時代に作られ、のちに歌舞伎舞踊となった常磐津の作品を、義太夫に取り入れたもので、昭和11年(1936)、四ツ橋文楽座で初演。えびす信仰の中心地、西宮神社(兵庫県西宮市)を舞台とした、明るく、愉快的景事です。

西の宮の恵比須様に妻を授けてほしいと祈願した大名と太郎冠者。釣好きな恵比須様のお告げは、釣竿で妻を釣れというもの。大名が釣り上げたのは、小野小町か楊貴妃かという絶世の美女。さっそく祝言をあげ仲睦まじい二人。その様子に気も焦り、大急ぎで釣竿を手にした太郎冠者は、針先について来た女性を見て、大はしゃぎ。変わらぬ愛を誓ってから、相手の顔を見ると…。



* 未就学児の入場はご遠慮ください。

* 字幕表示がございす。席によっては字幕が見えにくい場合がございますので、あらかじめご了承ください。

* コロナウイルスの影響や出演者の急病、その他やむを得ない事情により、代役もしくは演目を変更して上演する場合がございます。あらかじめご了承ください。

* 開演中の写真撮影・録画録音ならびに携帯電話・スマートフォン等の使用は固くお断りいたします。

* 駐車場は混雑いたします。公共の交通機関をご利用ください。

チケットのお求めは ミューズチケットカウンター

TEL.04-2998-7777

チケット発売 / メンバース : 6月28日[日] 一般 : 7月5日[日]

インターネット予約 **所沢ミューズ** 検索 24時間購入できます!

お問い合わせ

所沢市民文化センター ミューズ

〒359-0042 所沢市並木1-9-1
TEL.04-2998-6500

「航空公園駅」東口より徒歩10分・バス3分

西武新宿線・航空公園駅まで

■「池袋駅」より約30分(所沢駅乗り換え)

■「本川越駅」より約20分

■「高田馬場駅」より約35分

■「西武新宿線」より約40分

■「JR国分寺駅」より約20分(東村山駅乗り換え)

